

第47回埼玉大学脳科学セミナー

主催：埼玉大学脳科学融合研究センター

脳下垂体前葉における 細胞間コミュニケーション

藤原 研 先生

自治医科大学医学部解剖学講座組織学部門
講師

日時：2013年 11月 11日（月曜日）
16:00 ~ 17:30

場所：理工学研究科大学院国際セミナー室
（理工学研究科棟7階）

問い合わせ先 坂井 貴文（内線4308）
小林 哲也（内線4351）

脳科学融合研究センターは定期的に脳科学セミナーを開催しています。誰でも自由に参加出来るセミナーですので、奮ってご参加下さい。詳しくは下記のHPをご覧ください。

<http://subsi.saitama-u.ac.jp/>

要 旨

下垂体前葉には成長、生殖、代謝、免疫にかかわる6種類のホルモン（ACTH、GH、PRL、TSH、LH、FSH）を分泌する内分泌器官である。これらホルモン産生細胞の機能調節は視床下部や末梢臓器からのホルモンにより調節されている。さらに、葉内での同種・異種細胞間での細胞間コミュニケーションが正常な機能を維持する上で重要である。「細胞間コミュニケーション」と一言で言っても、様々な情報伝達手段がある。例えば、生理活性物質の autocrine や paracrine、細胞膜表面に存在する接着分子を介した juxtacrine、細胞外基質から情報を受容する matricrine などである。我々の研究室（解剖学講座組織学部門：屋代 隆）では、下垂体前葉内における様々な細胞間相互作用を同定し、その機能の解析を行っている。

本講演では、まず、下垂体前葉を概説し、下垂体前葉での細胞間相互作用についての知見を解説する。次に、我々の研究室による最新の研究成果を紹介したい。形態学的手法を基盤に分子生物学的技術を取り入れたことで明らかとなってきた、下垂体前葉内でおこる細胞間コミュニケーションについて解説する。